

【平谷教育長】

府中市の教育の現状につきまして、概略ではありますが、説明をいたします。

○まずは、総務課関係の取組みについて3点、説明します。

①備後国府を生かしたまちづくり

備後国府跡の国指定に向けまして、現在、報告書をまとめておりますが、最終段階を迎えています。

27年度中にこの報告書を刊行し、文化庁への意見具申書を提出するよう、地権者へ指定同意のお願いをする準備も行っております。

早急に国史跡指定を受けて、府中市のみならず県や国の貴重な歴史遺産であります備後国府跡の今後の保存・活用を具体化していくよう考えております。

②食育の推進

安全・安心な給食の提供のために、地元の食材確保と地産地消率の向上に取り組んでおります。

地産地消率は、順調に推移をしております、26年度末で、県内産約33%、市内産約19%と、平成30年度の目標でありました県内産30%、市内産18%の目標数値を、すでにクリアしておりますが、今後も生産農家との連携など、引き続き、地場産の食材の活用に取り組む予定であります。

また、先日、給食への金属片の混入がありまして、多くの皆様に御心配をおかけしました。大事には至りませんでした。給食センター内での作業工程に原因があり、安全・安心な給食提供に向けた再度の作業マニュアルの徹底を行っているところであります。

③学校施設の整備

25年度で校舎の耐震化を終えて、市内小中学校では安全な校舎での学びが行われておりますが、今後、災害時等に備えた窓ガラス等の耐震化や緑化等の環境に配慮したエコスクール化の推進、さらには、建設からかなりの年数を経過した「学校施設の内部改修」が必要であります。

これらの状況を踏まえ、「府中学びプラン（府中市教育推進計画）」に示します安全安心な教育環境づくりの重点事項として「学校改修計画」を、昨年度策定し、安全安心な学校づくりを行っているところです。

○次に学校教育につきましては、大きくは「小中一貫教育を推進し、たくましく生

き抜く力の養成」という目標を掲げて取組を進めています。

具体的な取組につきまして、5点説明いたします。

① 確かな学力の向上

平成16年度から小中一貫教育を実施し、学力向上に向け、各学園、学校において小中での合同授業等を通して授業改善を図ってきました。それを支えるために、市教委としましては「ホップ・ステップ・ジャンプ・学力向上プログラム」の研修等を開催しまして、教職員の授業力や指導力の向上を目指し、研修の充実を図ってきました。

こういった取組によりまして、平成26年度全国学力学習状況調査において、小・中学校とも、全ての教科（国語及び算数・数学）で、全国平均を上回っており、平成26年度広島県基礎・基本定着状況調査においても、小・中学校とも全ての教科で（国語、算数・数学、理科、英語）で、県の平均を上回っています。

【参考】全国及び県の平均を上回った年度

※全国調査：平成24年度～平成26年度

※基礎基本：平成25年度～平成26年度

② キャリア教育の充実

平成17年度から「府中市キャリア・スタート・ウィーク」に取り組んでおりますが、市内中学校2年生が5日間の職場体験学習を通して、事業所及び地域の人々とのつながりを大切にしながら、自らの未来を切り拓くために必要な能力や態度を育んでいます。

11年目を迎えます本年度は、374名の中学2年生が、市内の企業等におきまして体験を予定しています。

③ 生徒指導の充実

学力向上とともに小中一貫教育のねらいでありました「不登校児童生徒」の減少など生徒指導上の諸問題（暴力行為・いじめ・不登校）には、一定の成果が見られております。

小中一貫教育のシステム、要するに小と中の先生方の連携を活用した組織的な生徒指導体制を構築するとともに、生徒指導規程に沿った毅然とした対応の徹底を図っています。また、児童・生徒会合同研修会を実施し、児童生徒の自治活動の活性化を図っております。

そういった中で、平成26年度の生徒指導上の諸問題については、暴力行為等、前年度の数値を上回っておりまして、生徒指導主事研修等による指導の充実、また生徒指導体制の再構築を図っております。また、児童生徒の一層の自尊感情、自己

効力感等の向上を図るため、児童・生徒会の自治活動の取組み等を継続するよう検討しているところです。

④グローバル教育の充実

英語教育の推進を図るため、外国語指導助手（ALT）を3名配置し、市内全小中学校において、担当教員の授業の補助を行っております。また、ALTの生きた英語や異文化に触れることによりまして、児童生徒の国際理解の醸成あるいは語学力向上、さらには、グローバル化に対応できるコミュニケーション能力の向上を図っております。

今年度、新規事業としまして「グローバルキャンプ」を実施します。8月にキャンプイン府中を会場に、1泊2日の宿泊体験の中で、ALT（外国語指導助手）や外国人ボランティア、留学経験者等との活動を通して、国際感覚を身に付ける一歩を踏み出させたいと考えております。

⑤コミュニティ・スクールの充実

小中一貫教育の更なる充実を図るため、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を導入し、コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育を推進する取組を行っております。

具体的には、府中明郷学園が2年間の研究に取り組んだ後、平成26年度に本市で初めてとなるコミュニティ・スクールの指定を行いました。

以後、2年間の研究を行った後にコミュニティ・スクールの指定を行うという手順で、本年度から栗生小、南小の指定、そして、現在研究推進を府中学園と上下の小中3校で継続しています。

府中学びプランには、「平成34年度までに市内の小中学校全校の指定を目指す」としてありますが、地域・保護者の盛り上がりがあれば、30年度か31年度には全校の指定ができるのではないかと考えています。

〇続いて、生涯学習につきまして4点説明をいたします。

① スポーツ活動の充実

児童・生徒の体力向上は大きな課題になっておりますが、市民のスポーツに対する関心を高め、スポーツ活動への参加を促進し、各種スポーツイベントの支援や指導者の育成、あるいはスポーツ施設の計画的な整備などを行っていくために、本市のスポーツ振興の指針となります『府中市スポーツ推進計画』の策定に、今年度取り組んでいます。

この計画を策定するために組織いたしました「府中市スポーツ推進計画検討委

員会」の第1回の会議を、先週開催したところで、本年度中の策定を目指しているところであります。

② 家庭教育力の啓発

家庭教育は、すべての教育の出発点であります。地域の人々のつながりの希薄化や、核家族化により、親が子育てを学ぶ機会が減少しておりまして、子育てや家庭教育が困難な時代を迎えていると言われております。

こうした問題を、学校や個々の保護者の問題とするのではなくて、地域や社会全体で子育てや家庭教育を支援していく環境を構築していくために、その有効な手段として、親としての役割を自覚し、子育ての技術や知識を学ぶという「親の力をまなびあう学習プログラム」(通称「親プロ」)を普及していきたいと考えております。

具体的には、今年度に、学習プログラムの司会・運営役を担うファシリテーターを養成する講座や、「親プロ」体験講座の開催などに取り組む予定です。

③ 芸術文化活動の推進

芸術・文化の振興につきましては、市民一人一人が豊かな人間性を培い、創造的な生活を送るためにも重要なことでもあります。

現在、府中市美術展や広島県美術展巡回展の定着、また各種文化団体等の活動の支援、あるいは公民館活動の中での講座の開設・学習成果の発表の場の拡充など、文化芸術活動に参加できる場や文化芸術に接する機会の拡充を図っております。

今年度は特に、市民や児童・生徒の美術作品の貸し借りができる「まちかど芸術推進事業」を積極的に展開していこうと計画しておりまして、より市民が芸術に接する機会の提供に努めてまいります。

④ 府中学びフェスタ

この「府中学びフェスタ」は、市民が生涯にわたって自ら学び、地域社会の振興に主体的に参加する人づくりを目的として実施しているものであります。

今回が5回目という区切りの年でもありまして、記念公演の開催を予定しておりますが、他にも今回府中市のイメージソングを作詞作曲された田川ヒロアキさんに御出演をいただく予定としております。

また、昨年度は53の地元企業等から協賛品や現金の御協力をいただき、行政主導型のイベントから住民主体型へ転換していく第一歩を踏み出せたところでありまして、今年度は更に民間企業やNPO法人等の知恵や活力を取り込めるような取り組みを行っていききたいと考えております。

以上、それぞれの分野等の現状を説明いたしました。